

送四!! SMD-C APバンの取替えが劇的に変わる!

UTPケーブル一括把持具（愛称：抜GUN）をご紹介します

■概要

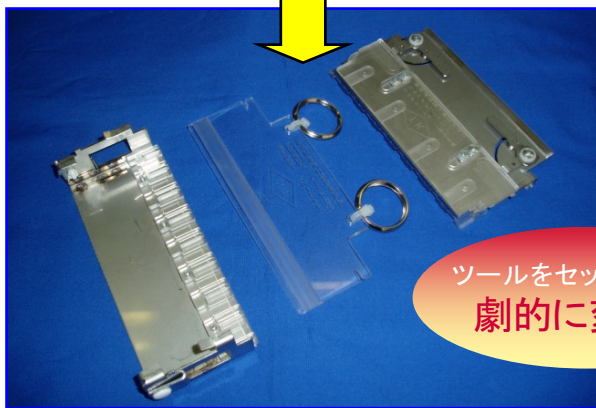
SMD-C AP盤の取替えを効率的に行うために、UTPケーブルを一括把持及び挿抜するための器具。誤挿入防止のための「編組」が不要となり、事前準備にかかる時間と切替時間の両方の負担が軽減できます。

事前ケーブル処理の負担が軽減

SMD-C AP盤を交換する際、收容されているUTPケーブルを一旦全て取り外し、AP盤取替後、再度ケーブルを元通りに接続し直します。この作業を行うには、誤接続防止のために編組を組み、事前にケーブル確認とケーブル整理を行う必要があります。

1パネルあたり、約30分程度の時間が必要
しかも作業によって時間にバラツキがある

そこで新しい方法を考案しました



ここにセットする



16本

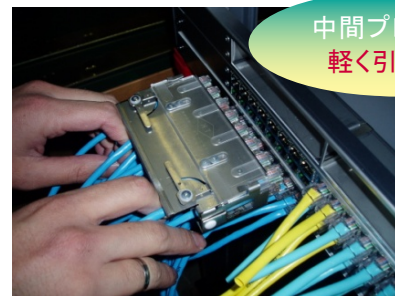
14本

結果は、
取付けが、わずか30秒です
誤接続も怖くありません



ケーブルの挿抜が早い!

- ① まとめてケーブルを取り外し
ツールをセット開始から、**わずか20秒**



中間プレートを
軽く引くだけ

- ② AP盤の取替中は、このままの状態を仮置き



元の状態を保持

- ③ 再接続は、一瞬です



押すだけで
元通り

■仕様緒元

適用PKG	SMD-C AP盤 富士通製
寸法(mm)	幅121mm, 高さ32mm, 奥行き68mm ※装着時
質量(g)	220g (内 中間プレート25g)
材質	本体部:ステンレス、PC 中間プレートPC(難燃グレード) ※帯電防止加工済み



お問い合わせ・注文先
全通協 サービス営業部門
Tel.03-6665-0115 Fax.03-3518-0540
shinseihin-info@zentsukyo.or.jp
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル4F

UTPケーブル一括把持具(抜GUN)

本ツールをご使用にあたってのお願い

本ツールは緻密な寸法を維持して使用する製品です。次のことに注意してご使用下さい

- ・決して落とさないで下さい。もしも落としてしまった場合はメーカーに校正を依頼して下さい(有償)
- ・強い衝撃を与えると破損及び変形する恐れがありますので、取扱いには十分注意してください
- ・必要以上の力をかけたり、ケースに引っかかってしまった際に、ムリに引っ張らないで下さい
- ・モジュラーのメーカーが混在していたり、結線時のカシメ状態があると挿抜できない場合があります
- ・長期間使用した場合、ネジ及びナットが緩む恐れがあります。緩み等がないかなど、使用前に確認し、緩みがあった場合は必ず締め付けて下さい
- ・決してネジ等を外さないでください。細かい部品が組み込まれていますので、部品を紛失してしまう可能性があります
- ・使用しないときは専用ケースに入れて保管して下さい

RJ45モジュラーの爪部分の破損に十分注意して下さい

1. 本ツールを装着する前にRJ45モジュラーの爪部分に「折れ」や「曲がり」等がないか、十分確認して下さい。場合によっては装着後に爪が折れてしまい、装置からケーブルを抜くことができなくなります。
2. RJ45の爪部分は大変デリケートです。本製品を不用意に装着すると折ったり曲げたりする原因になりますので、力任せに装着しないで下さい

交換対象のAPバンのすべてに予め中間プレートを装着して下さい

1. 本ツールを装着する前に交換対象のすべてのAPバンに中間プレートを予め装着しておいて下さい
2. 中間プレート装着時、きつかったり緩かったりといった違和感を感じた場合は、RJ45モジュラーの部品サイズと合っていなかったり、モジュラーメーカーが混在している可能性があります。十分確認してから使用して下さい

複数のAPバンに予めセットする事はお止めください

【予めセットできない理由】

SMD-C APバンへの装着が完了すると、RJ45モジュラーの爪部分が全て押された状態になります。そのため他の作業において本ツールが装着されているケーブルに触れただけでRJ45モジュラーが抜けてきてしまいますので十分注意して下さい。

ケーブルを引き抜く際には、必ず中間プレートを引っ張ってください

ケーブルを抜く際には、必ず中間プレートを引き抜いてください。本ツールの金属部分に指をかけて引き抜くと中間プレートが外れてしまい、最悪RJ45コネクタが外れてしまう可能性があります。

UTPケーブル挿入作業(ツール取り外し)は左側ポートより行ってください

右側のポートから挿入すると、中間プレートを取り外す際、左側ポートの中間プレートが邪魔をして外すことができません。左側ポートより作業を行ってください。

※架とAPバンの隙間が左右で違うため、中間プレートは左側からのみ装着及び取り外しが可能です。

